

# 情報連絡員報告総括表(令和元年11月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		3	1	1	3		1	3			4		1	1	2		3	1		4			4			2	2					
	織 維 工 業		3			3			2	1		2	1		2	1		2	1		3			3			2	1					
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1		1			1				1		1				1					
	紙 ・ 紙 加 工 品			2	1	1			1	1		2			2			2				2		2				2					
	印 刷		1			1			1			1		1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																
	窯 業 ・ 土 石 製 品		1	2		3			3		3			1	2		3			2	1		3			1	2						
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1		1		1				1		1				1		1					1					
	一 般 機 器	1	2			3			3		3		1	2		3				2	1		2	1		1	2						
	電 気 機 器			1		1			1		1				1			1			1		1					1					
	輸 送 機 器			1			1		1		1				1			1			1		1					1					
	そ の 他																																
小 計	1	10	9	2	16	2	1	17	2		18	2	2	7	11		16	4		12	8		19	1		7	13						
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		2		1	1			2			1	1		2		X				2			1	1					
	小 売 業		2	4	1	3	2	1	3	2		6			3	3		4	2							5	1		1	5			
	商 店 街		1			1				1		1			1			1								1			1				
	サ ー ビ ス 業	2	2	1	X			1	4			5			4	1	1	4								1	4		1	3	1		
	建 設 業	1	2	1							4			3	1		3	1					3	1					4			3	1
	運 輸 業		1								1			1				1					1						1				1
	そ の 他		1								1			1			1						1						1			1	
小 計	3	10	7	1				6	2	3	14	3		19	1		13	7	1	16	3				1	18	1	1	10	9			
合 計	4	20	16	3				22	4	4	31	5		37	3	2	20	18	1	32	7		12	8	1	37	2	1	17	22			

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年11月～令和元年11月)

三重県中小企業団体中央会

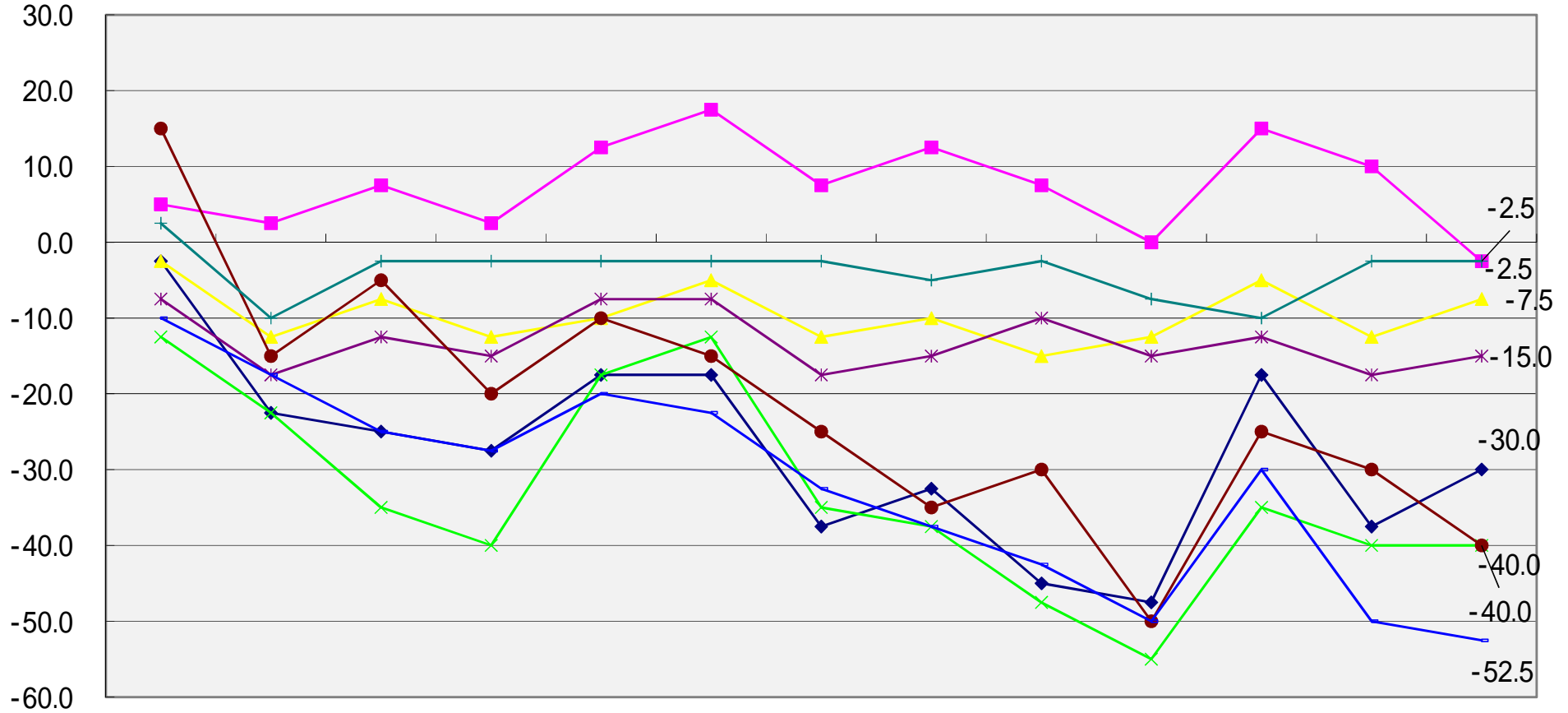
連絡員総数 40名

	30/11月	12月	1/11月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	7.5
販売価格	5.0	2.5	7.5	2.5	12.5	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	-12.5
取引条件	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	5.0
収益状況	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	0.0
資金繰り	-7.5	-17.5	-12.5	-15.0	-7.5	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	2.5
設備操業度	15.0	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-10.0
雇用人員	2.5	-10.0	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移

30/11月 12月 1/1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月



◆ 売上高  
 ■ 販売価格  
 ▲ 取引条件  
 × 収益状況  
 ✱ 資金繰り  
 ● 設備操業度  
 + 雇用人員  
 — 業界景況

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。秋野菜の作付については、台風と長雨の影響により初期の生育の遅れがみられたが、その後の天候の回復により生育が回復している。また全日本漬物協同組合連合会による地域特産品委員会が12月8日に山梨県で開催された。更に今年から外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を今後予定している。
	醤油味噌	原料の三重県産大豆が不作。食品表示基準が来年4月から新基準へ移行する。組合員が1名脱退し、36となった。11月26日、当組合三林理事長が農林水産大臣賞を受賞した。11月14日、当組合の伊勢蔵(株)が豆味噌で全国味噌鑑評会において、全国味噌工業組合連合会会長賞を受賞した。創業130周年を迎えた当組合理事長企業のヤマモリ(株)が食品産業平成貢献大賞を受賞した。同三林社長が食品産業功労賞を受賞した。
	豆腐	伊賀上野の組合員が年内で廃業するという連絡があった。
	製麺	11月16日、17日の2日間に渡り、埼玉県熊谷市にて第9回うどんサミットが開催された。11月初めにテレビ「マツコの知らない世界」にやわうどんとして、伊勢市の山口屋さんの伊勢うどんがテレビで紹介された。マツコが「伊勢うどんはおいしい」とコメントし、認知度がかなり上がり、今回のイベントでは、前回より30%アップの数量分を食してもらえた。
紙・紙加工品	紙器段ボール	11月はお歳暮商品向けや冬物食品向けの段ボールケースの需要がピークになる月度である。本年は荷動きも悪く、生産量は前年対比で4-5%のダウンになる予想である。
	古紙	11月の取扱い重量は段ボールは約96±3%、新聞、チラシは約93±6%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約92±5%と思う。消費税導入後でも影響が少ない業種や商品もあるようだが、全般的には影響が出ており、天災や少子高齢化等が根底にあるように思う。中国の廃棄物輸入規制と世界的な景気の衰退感等が大きく影響し、年末年始に向け古紙輸出ができず、合わせて国内生産が大幅に減少、原紙輸出も価格的に厳しいようである。年末に向けて「ジングルベル」か「きよこの夜」が流れるのか、都市部と地方・地域によって異なるようにも思える。その結果、全国的に製紙原料の古紙が余ってきており、関東では輸出販売をしていた古紙問屋が閉店しているようである。現在は輸出古紙の流通価格も暴落し、正月休みや中国の冬季休暇の国慶節等で輸出がしにくい状況となっている。10月に最低賃金と消費税の引き上げがあり、社会保障費負担と合わせて下請けの中小零細企業に重くのしかかっている。無料排出所のゴミの置き去りで、排出者の特定と三重県警様に注意してもらった。古紙の持ち去り行為はなくならないが、年末の不審火や事故等がないように祈るばかりである。
印刷	印刷	年末に向けてパッケージやチラシ関係の需要は伸びているが、その他一般の印刷物は、価格競争等厳しい業況が続いている。また、年賀状印刷は昨年以上に受注が減少している。
窯業・土石製品	伊賀焼	今年10月から伊賀焼伝統産業会館の2階のみを有料としたことにより、2階入館者数は減少したが、1階販売コーナーの入館者数、陶芸体験者数ともに増加した。売上については、昨年同月、先月に比べ微増であった。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界生産量は10月と比べ、やや減少気味であった。自動車部品関連、建築関連部品、産業機械関連、電気部品関連とともに減少と全体的に減少している。その中、半導体関連部品は増産傾向が現れ、それに対する労働力確保、働き方改革に伴う労働力の確保と課題は山積している。
一般機器	四日市	組合員個々の内情を詳しく知る事は難しい。しかし、当組合メンバーの大半は独自の技術と長年にわたり、多くの取引先を持ち、堅実な経営を続けている。
	津市	取引先から応援生産の依頼があり、その分が売上増加につながった。しかし、例年12月~2月の売上は下がる傾向があるので、一概には良くなったとは言えない。人員については、なかなか派遣社員が長続きせず、時給だけが上がり、能力が伴っていないことが多いので、政府がすすめている同一労働同一賃金に無理があるのではないかと感じている。
	伊勢	中国経済の失速懸念、米中貿易摩擦の激化に伴う影響等が不安で下降局面が続いている。人手が足りないところが無くなってきた。
電気機器	鳥羽	11月に入って年度末の受発注が増加すると期待していたが、非常に伸び悩んでいる。昨年の同時期と比較しても15%ダウンしている。
輸送機器	鈴鹿	鈴鹿市内の大手自動車メーカーで生産する新型車に使用する部品に不具合があり、発売開始が遅延されている問題は依然として解決されておらず、当該車種の部品を受注している下請け企業では受注が止まっており大きな影響を受けている。余剰となっている非正規従業員の雇用維持の負担も深刻化している。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	卸売業	肥料	組合の通常総会が開催されたが、組合員数の減少が続いている。最近では経営者の高齢化による廃業だけでなく、従業員(技術屋)の高齢化による退職での廃業も出ている。今後も組合員の二極化が進んでいくものと思われる。
	小売業	青果	野菜前半:キャベツはお買い得、気温が高いため鍋物用白菜と白ネギが安い。ゴボウは入荷が増え、お値打ち。野菜後半:白菜、白ネギ、きのご類は順調に入荷し、堅調な動き。キャベツ、レタスは安い。人参は北海道産から愛知や岐阜への切り替えて値上り気味。全体的に品質が良い。果物前半:県内産の早生みかんが入荷。甘みも酸味もほど良く美味しい。りんごは長野県産のサンフジ、三重県産の次郎柿が最盛期で安い。果物後半:県内産早生みかんは全体的に動きが鈍い。ハウスイチゴの入荷が増え、価格も下回ってきた。りんごは長野県産・青森県産の蜜入りサンフジが入荷し始めた。美味しく価格も昨年並み。
		自転車	鳥羽市で自転車店を営んでいるが、市内の自転車店は15年前には4店舗あったが、現在2店舗だけが営業している状態となってしまった。そのうちの1店舗のご主人が最近亡くなった。残りは1店舗となってしまった。そうであれば1万8千人の鳥羽市にたった1軒の自転車店となり、なんとも寂しい限りである。ゆくゆくは鳥羽市自体、自転車店という業態が減っていくのではと危惧している。
		電器	消費税増税の反動と客単価がやや減少しており、売上の減少傾向にある。ただ、年末に向けて11月は、各メーカーの合同展覧会が毎週末実施され、お客様を招待して購買に繋げる活動を進め、個々のお店でもそれぞれ個展を実施し、売出しに努めた。また先月からスタートしているキャッシュレスでの還元も活用して進めている。
		石油	11月の燃料油販売数量については、前年対比7%前後の減販状況であった。季節商品の灯油販売に期待したが、前年よりも暖冬の影響が販売数量が前年より減販であった。収益状況については、燃料販売の減販及び油外商品の販売低迷により、厳しい状況であった。
		スポーツ	今年は秋が短く、いきなり冬に入った。本来ならばウインドブレーカーの注文をまとめ、順に納品という段取りだが、寒くなったので早急にウインドブレーカー納品の催促が早まってきた。メーカーの用意が整っていない事もあり困っている。暖冬の際は用意があるのに注文が決まらずイライラするし、商売の難しさをひしひしと感じる。
商店街	熊野市	11月の朝市イベントは、他のイベント併催がない単独開催だった。そのためか出店数も少なく、来場者数も普段より少なく各店舗の売上も普段より少ないようであった。今後はイベント等の併催など、集客に繋がる工夫が必要だと思う。	
サービス業	旅館	夏以来、毎月台風情報等によるキャンセルに悩まされていたが、11月は天候に恵まれ久し振りにフル稼働した充実感のある一ヶ月であった。全般的に予約も伸びて3連休をピークに各週とも週末は満館になった施設も多く、昨年より10~20%増加していたようだった。	
	測量	特に変化なし。官民の事業が減少している。	
	警備	毎年のことであるが、この時期は発注量が大幅に増えるが、職員数が現状のままなので、自然に単価が上がる。	
建設業	総合工事業	公共工事の発注状況:昨年度合計の約75%が発注された。国受注工事は既に前年度合計額を超えており、第4四半期の発注量の減少が危惧される。	
	内装工事業	11月分は前年同月の値が高かったせいもあり、対前年同月比で減少となってしまった。例年どおり年末にかけて受注は増加すると思われるが、年度末までは増減の動きで推移するかも知れない。	
運輸業	トラック	貨物の輸送需要の減少が続く。	

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	12月7日、8日に香川県高松市(本場さぬき)にて「全国年明うどん大会」が開催され、PR活動に取り組んできた。
一般機器	四日市	桜を見る会で云々国会のやり取りが続いている。被災地の復興、近隣諸国との外交問題等、政治の弱体化が心配である。
サービス業	旅館	要望先(厚生労働省)短時間労働者に対する厚生年金保険及び健康保険の適用範囲拡大の件で、適用企業規模要件の改正については旅館業の特殊性に鑑み、多くのパート、アルバイト等を必要とするところから「従業員51人以上を300人以上に」また、日本経済新聞の報道にある段階的(従業員数)導入にあたっては、施行時期について長期的な段階により本制度改正を行うよう強く要望する。
	測量	このままでは廃業に追い込まれるだろう。